

この夏も広がる心の和

平成26年度八方原ふれあい盆踊り大会が会場を変更して開催されました。あいにくの小雨模様でしたが、皆さんの区民の方が参加されました。



子ども会のメンバーが持つ花火。はじける光が、濡れた路面に反射する

今年には雨の多い夏となりました。8月2日のふれあい盆踊り大会も、会場を公民館に移しての開催となりましたが、バザーや花火などほとんどのイベントは予定通り行われました。

当日は小郡地域で数カ所夏祭りや盆踊り大会が予定されましたが、天候のために開催を中止したところも少なくありませんでした。

実行委員会では公民館での開催を決定、それぞれが速やかに対応しました。今回は初めて地元企業のひとつ「グリーンクロス山口支店」さんがバザーを出店。「はしまき」という鉄板焼きを提供してくれました。たくさんの人

が買い求めていますので、良い交流の場になったのではないのでしょうか。メインイベントの踊りの輪は、公民館のフロアいっぱい広がって、楽しみました。

クッキー「西の香り」登場

「八方原で生産する麦を使った何かを提供できないか」八方原の環境を守る会では考えた結果、クッキーを作る会では考えました。麦の品種「西の香り」の名前をそのまま頂いて、クッキー「西の香り」としました。作成は伊藤悦子さんにお願ひしました。6次産業になるかな？

山口県では15日に「いもち病」

警報を出しました。これは長雨で日照不足が続く天候不順によるものです。いもち病は稲の葉につくカビの一種で、米の品質の低下や収量減など、深刻な影響が予測されます。雨天が多いために防除もなかなかできないという厳しい状況です。

写真は8月18日の朝撮影したものです。稲穂に白い花がついています。このまま順調に育つてくれればいいのですが、青空が待ち遠しいですね。

稲の生育に黄色信号



みんなでリサイクル

毎年夏休みの終わりには子ども会のリサイクルが行われます。今年は24日に行われ、子ども会のメンバーだけでなく保護者の方々もたくさん出て、リサイクル資源の収集と分別に汗をかきました。

当日は小雨模様、紙類が濡れないようにシートかけて、回収して回ります。なかには「うちには来ないのか」という問い合わせもありました。順番に回



お父さん、お母さんたちも大活躍

会津と長州を結ぶ踊り



公民館フロアでの踊りの輪 (写真は小郡音頭の時)

盆踊りは夏祭りのイベントと思ってしまうですが、本来、慰霊の意味合いが強いものです。なかでも、太鼓だけで踊る白河踊りは少し変わった歴史があるようです。

福島県白河市は戊辰戦争の際の激戦地、会津と長州の因縁の地でもあります。そこでの戦いで命を落とした人たちの慰霊する「白河踊り」がありました。当時凄惨な戦いの後に、新政府軍の兵士も踊りの輪に加わったと伝わっています。それを秋に持ち帰って広まったのが今日伝わっているのです。哀しくも不思議なつながりですね。

今年8月21日、白河市では秋の関係者を招いて、盆踊り大会を開催したということです。

るので仕方ありませんね。

ところで、今回は段ボールの回収が今までに無いような大量でした。保護者の方のお話では「新築の住宅があったからではないか」とのことでした。なるほど、そうかも知れませんね。何はともあれ、ご苦労様でした。

JR山口線全線復旧記念

SL「やまぐち号」が帰ってきた

記念の重連運転

SLやまぐち号は地元ではおなじみですが、全国的にはとても人気のあるレトロ列車です。

昨年7月の阿東地区での大雨で、鉄橋や線路が流されて、地福・津和野間はバスによる代替運転でした。この夏には相次ぐ機関車のトラブルでC57もC56も使えない状態になりました。ディーゼル機関車だけが客車を引っ張る日もありました。8日には全線復旧の記念式典が予定されているのに、JRの関係者からSLの修理が間に合わないかも知れないという話も出てきました。

当日はなんと両方のSLが登場、記念の重連運転になりました。「ポーツ」特別大きな汽笛を鳴らして、満員の列



俳優の優香さんと大野拓朗さんがくす玉割り

車が滑り出しました。「行ってらっしゃい!」たくさんの市民が見送りました。

災害への備えは大丈夫か

8月20日の夜明け前の雨、広島市では50カ所に及ぶ土砂災害が起きてしましました。

当地区でも平成21年7月の集中豪雨でたくさんの被害が出ています。災害はいつどういいう形で襲ってくるか予想できません。緊急時には常に周りの状況を冷静に判断して、最善の判断をしていく事が大切です。